

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券 | |
|--------|--|--|
| 信託期間 | 無期限（2009年9月28日設定） | |
| 運用方針 | ファミリーファンド方式により、日本を除くアジア諸国・地域のソブリン債券（国債、政府保証債等）および準ソブリン債券（政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券）を中心に投資を行い、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。 | |
| 主要運用対象 | ベビーファンド | アジア・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券 |
| | マザーファンド | 日本を除くアジア諸国・地域のソブリン債券および準ソブリン債券 |
| 運用方法 | <ul style="list-style-type: none"> 日本を除くアジア諸国・地域のソブリン債券および準ソブリン債券を主要投資対象とし分散投資を行います。 ソブリン債券・準ソブリン債券からの安定した利子収入の確保および信託財産の成長を目指して運用を行います。 | |
| 主な組入制限 | ベビーファンド | <ul style="list-style-type: none"> マザーファンドへの投資割合は、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資は、制限を設けません。 ソブリン債券以外への実質投資は、取得時において、当ファンドの純資産総額の35%以内とします。 同一企業が発行する債券への実質投資は、当ファンドの純資産総額の10%以内とします。 同一国・地域が発行する債券への実質投資は、取得時において、当ファンドの純資産総額の35%以内とします。 |
| | マザーファンド | <ul style="list-style-type: none"> 外貨建資産への投資は、制限を設けません。 ソブリン債券以外への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の35%以内とします。 同一企業が発行する債券への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 同一国・地域が発行する債券への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の35%以内とします。 |
| 分配方針 | 毎月22日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。） | |

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

アジア・ソブリン・オープン （毎月決算型）



第83期（決算日：2016年8月22日）
 第84期（決算日：2016年9月23日）
 第85期（決算日：2016年10月24日）
 第86期（決算日：2016年11月22日）
 第87期（決算日：2016年12月22日）
 第88期（決算日：2017年1月23日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「アジア・ソブリン・オープン（毎月決算型）」は、去る1月23日に第88期の決算を行いましたので、法令に基づいて第83期～第88期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

 **MUFG**
三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034

(9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

| 決 算 期 | 基 準 (分配落) | 価 額 | | | 参 考 指 数 | 期 中 騰 落 率 | 債 券 組 入 比 率 | 債 券 先 物 比 率 | 純 資 産 総 額 |
|------------------|--------------|------------|-----|--------------|---------|--------------|----------------|----------------|--------------|
| | | 税 込 分 配 | み 金 | 期 中 騰 落 率 | | | | | |
| | 円 | | 円 | % | | % | | % | 百万円 |
| 59期(2014年8月22日) | 10,310 | | 60 | 2.1 | 15,869 | 1.9 | 97.3 | — | 4,859 |
| 60期(2014年9月22日) | 10,624 | | 60 | 3.6 | 16,493 | 3.9 | 97.6 | — | 4,501 |
| 61期(2014年10月22日) | 10,453 | | 60 | △1.0 | 16,357 | △0.8 | 96.7 | — | 4,473 |
| 62期(2014年11月25日) | 11,389 | | 60 | 9.5 | 17,878 | 9.3 | 95.1 | — | 4,662 |
| 63期(2014年12月22日) | 11,269 | | 60 | △0.5 | 17,844 | △0.2 | 96.8 | — | 4,497 |
| 64期(2015年1月22日) | 11,306 | | 60 | 0.9 | 18,110 | 1.5 | 98.0 | — | 4,444 |
| 65期(2015年2月23日) | 11,251 | | 60 | 0.0 | 18,021 | △0.5 | 97.6 | — | 4,346 |
| 66期(2015年3月23日) | 11,157 | | 60 | △0.3 | 18,020 | △0.0 | 96.8 | — | 4,364 |
| 67期(2015年4月22日) | 11,261 | | 60 | 1.5 | 18,326 | 1.7 | 95.9 | — | 4,433 |
| 68期(2015年5月22日) | 11,196 | | 60 | △0.0 | 18,344 | 0.1 | 96.0 | — | 4,413 |
| 69期(2015年6月22日) | 11,120 | | 60 | △0.1 | 18,355 | 0.1 | 95.7 | — | 4,393 |
| 70期(2015年7月22日) | 11,072 | | 60 | 0.1 | 18,322 | △0.2 | 96.9 | — | 4,390 |
| 71期(2015年8月24日) | 10,300 | | 60 | △6.4 | 17,257 | △5.8 | 95.0 | — | 3,900 |
| 72期(2015年9月24日) | 9,895 | | 60 | △3.3 | 16,775 | △2.8 | 97.1 | — | 3,673 |
| 73期(2015年10月22日) | 10,192 | | 60 | 3.6 | 17,421 | 3.9 | 95.7 | — | 3,790 |
| 74期(2015年11月24日) | 10,309 | | 60 | 1.7 | 17,609 | 1.1 | 95.7 | — | 3,786 |
| 75期(2015年12月22日) | 10,107 | | 60 | △1.4 | 17,450 | △0.9 | 97.0 | — | 3,591 |
| 76期(2016年1月22日) | 9,683 | | 60 | △3.6 | 16,843 | △3.5 | 97.3 | — | 3,414 |
| 77期(2016年2月22日) | 9,379 | | 60 | △2.5 | 16,583 | △1.5 | 96.7 | — | 3,283 |
| 78期(2016年3月22日) | 9,642 | | 60 | 3.4 | 17,179 | 3.6 | 98.0 | — | 3,371 |
| 79期(2016年4月22日) | 9,578 | | 60 | △0.0 | 17,107 | △0.4 | 97.7 | — | 3,333 |
| 80期(2016年5月23日) | 9,300 | | 60 | △2.3 | 16,714 | △2.3 | 98.2 | — | 3,231 |
| 81期(2016年6月22日) | 8,955 | | 60 | △3.1 | 16,285 | △2.6 | 96.0 | — | 3,086 |
| 82期(2016年7月22日) | 9,191 | | 60 | 3.3 | 16,851 | 3.5 | 97.6 | — | 3,126 |
| 83期(2016年8月22日) | 8,800 | | 60 | △3.6 | 16,286 | △3.4 | 97.5 | — | 2,982 |
| 84期(2016年9月23日) | 8,754 | | 60 | 0.2 | 16,325 | 0.2 | 97.8 | — | 2,924 |
| 85期(2016年10月24日) | 8,807 | | 60 | 1.3 | 16,461 | 0.8 | 96.9 | — | 2,934 |
| 86期(2016年11月22日) | 8,808 | | 60 | 0.7 | 16,675 | 1.3 | 95.0 | — | 2,910 |
| 87期(2016年12月22日) | 9,271 | | 60 | 5.9 | 17,638 | 5.8 | 95.8 | — | 3,016 |
| 88期(2017年1月23日) | 9,049 | | 60 | △1.7 | 17,352 | △1.6 | 97.3 | — | 2,924 |

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

- (注) 参考指数は、シティ世界国債インデックスの現地通貨建て国別サブインデックス（シンガポール、マレーシア、フィリピン、インドネシア、韓国、台湾、タイ）の基準日前営業日の各指数とJ.P. Morgan GBI-EM Broad India（インド・ルピー建て、ヘッジなし）の基準日前営業日指数を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により三菱UFJ国際投信が円換算したうえ等ウェイトで合成し、当ファンド設定日を10,000として指数化したものです。
- シティ世界国債インデックスの現地通貨建て国別サブインデックスは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスです。
- J.P. Morgan GBI-EM Broad India（インド・ルピー建て、ヘッジなし）：情報は、信頼性があると信じられる情報源から取得したものです。J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2015, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
- (注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れていますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

| 決 算 期 | 年 月 日 | 基 準 価 額 | | 参 考 指 数 | | 債 組 入 比 率 | 債 先 物 比 率 |
|-------|----------------------|---------|-------|---------|-------|-----------|-----------|
| | | 円 | 騰 落 率 | | 騰 落 率 | | |
| 第83期 | (期 首) 2016年7月22日 | 9,191 | — | 16,851 | — | 97.6 | — |
| | 7 月 末 | 9,096 | △1.0 | 16,713 | △0.8 | 97.5 | — |
| | (期 末) 2016年8月22日 | 8,860 | △3.6 | 16,286 | △3.4 | 97.5 | — |
| 第84期 | (期 首) 2016年8月22日 | 8,800 | — | 16,286 | — | 97.5 | — |
| | 8 月 末 | 8,944 | 1.6 | 16,577 | 1.8 | 97.4 | — |
| | (期 末) 2016年9月23日 | 8,814 | 0.2 | 16,325 | 0.2 | 97.8 | — |
| 第85期 | (期 首) 2016年9月23日 | 8,754 | — | 16,325 | — | 97.8 | — |
| | 9 月 末 | 8,713 | △0.5 | 16,260 | △0.4 | 97.5 | — |
| | (期 末) 2016年10月24日 | 8,867 | 1.3 | 16,461 | 0.8 | 96.9 | — |
| 第86期 | (期 首) 2016年10月24日 | 8,807 | — | 16,461 | — | 96.9 | — |
| | 10 月 末 | 8,801 | △0.1 | 16,506 | 0.3 | 96.8 | — |
| | (期 末) 2016年11月22日 | 8,868 | 0.7 | 16,675 | 1.3 | 95.0 | — |
| 第87期 | (期 首) 2016年11月22日 | 8,808 | — | 16,675 | — | 95.0 | — |
| | 11 月 末 | 8,910 | 1.2 | 16,899 | 1.3 | 95.1 | — |
| | (期 末) 2016年12月22日 | 9,331 | 5.9 | 17,638 | 5.8 | 95.8 | — |
| 第88期 | (期 首) 2016年12月22日 | 9,271 | — | 17,638 | — | 95.8 | — |
| | 12 月 末 | 9,161 | △1.2 | 17,417 | △1.2 | 95.8 | — |
| | (期 末) 2017年1月23日 | 9,109 | △1.7 | 17,352 | △1.6 | 97.3 | — |

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れていますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

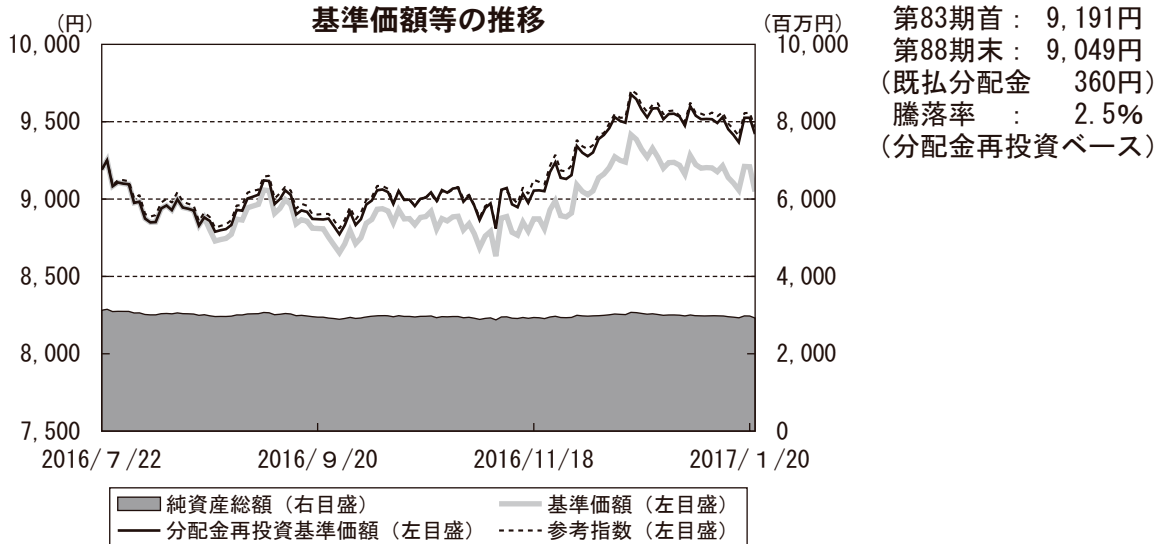
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について（第83期～第88期：2016/7/23～2017/1/23）

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ2.5%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

保有銘柄の利息収入を得られたことや、円安が進行し投資対象国・地域の通貨が対円で上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

投資環境について

（第83期～第88期：2016/7/23～2017/1/23）

◎債券市況

- ・各国中央銀行は緩和的な金融政策を維持したものの、米国大統領選挙以降、今後の財政拡大期待やインフレ期待の上昇などを背景として世界的に金利が上昇したことから、多くの投資対象国・地域の金利は当作成期首に比べ上昇しました。
- ・インドでは、インフレ率が低下基調にあることや中央銀行による政策金利の引き下げが行われたことなどから、金利は低下しました。インドネシアでは、政策金利の引き下げが行われたものの、世界的に金利が上昇したことなどから、金利は上昇しました。

◎為替市況

- ・世界的に景気が底堅く推移したことや、米国での今後の財政拡大期待や日銀による緩和政策などを受け、投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどから、多くの投資対象国・地域の通貨は対円で上昇しました。
- ・韓国では、政治的不透明感が高まる局面があったものの、世界的に投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどを受け、韓国ウォンは対円で上昇しました。シンガポールでは、国内総生産（GDP）関連統計が市場予想を上回ったことなどから、シンガポール・ドルは対円で上昇しました。タイでは、安定した貿易黒字などを背景に、タイ・バーツは対円で上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<アジア・ソブリン・オープン（毎月決算型）>

- ・アジア・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象としており、実質的な運用はマザーファンドで行っています。

<アジア・ソブリン・オープン マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べて3.4%の上昇となりました。

- ・日本を除くアジア諸国・地域のソブリン債券（国債、政府保証債、国際機関債などをいいます。）および準ソブリン債券（政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券をいいます。）を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用しました。
- ・金利に魅力のあるインド・ルピー建債券やインドネシア・ルピア建債券の組入比率を高めとし、安定的な利息収入の確保をはかりました。

- ・外貨建資産について、対円での為替ヘッジは行いませんでした。なお、米ドル建債券等の外国通貨建債券に投資した場合には、実質的に債券発行国（アジア諸国・地域）の自国通貨建てとなるように為替予約、直物為替先渡取引（NDF）などによる為替取引を行いました。

※直物為替先渡取引とは、一種の外国為替先渡取引であり、決済時に元本の受け渡しを行わずに、取引時に決定した取引レートと決済レートの差および元本により計算した額を、米ドルなどに換算して、受け渡しを行う取引です。

- ・通貨別組入比率は、経済改革が進展しているインドネシア・ルピアや相対的に高金利通貨であるインド・ルピーなどの組入比率を高め維持しました。貿易収支の状況の変化などを考慮して、フィリピン・ペソを引き下げ、タイ・バーツを引き上げました。
- ・前記の運用を行った結果、一部の国を除き、一般的に金利が上昇したことがマイナスに作用したものの、安定的な利息収入やインド国債などの利回りが低下したこと、円安が進行し投資対象国・地域の通貨が対円で上昇したことなどがプラスに寄与し、当作成期を通してみると、基準価額は上昇しました。

（ご参考）

利回り・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

作成期首（2016年7月22日）

| 国・地域 | 平均デュレーション | 平均総利 | 平均直利 | 債券組入比率 |
|--------|-----------|-------|-------|--------|
| 中国 | 3.6 | 3.3% | 3.0% | 1.5% |
| 香港 | 4.6 | 0.7% | 2.1% | 0.5% |
| 韓国 | 1.5 | 1.5% | 4.6% | 7.4% |
| 台湾 | 3.5 | 0.5% | 1.3% | 5.4% |
| インドネシア | 7.5 | 7.4% | 6.8% | 18.2% |
| マレーシア | 7.6 | 3.6% | 3.9% | 15.1% |
| フィリピン | 7.9 | 4.0% | 5.6% | 14.7% |
| シンガポール | 9.4 | 1.9% | 2.7% | 7.4% |
| タイ | 7.2 | 2.0% | 2.1% | 10.0% |
| インド | 5.2 | 7.6% | 7.8% | 15.6% |
| スリランカ | 3.3 | 11.8% | 10.7% | 2.2% |
| 計／平均 | 6.3 | 4.5% | 5.0% | 97.9% |



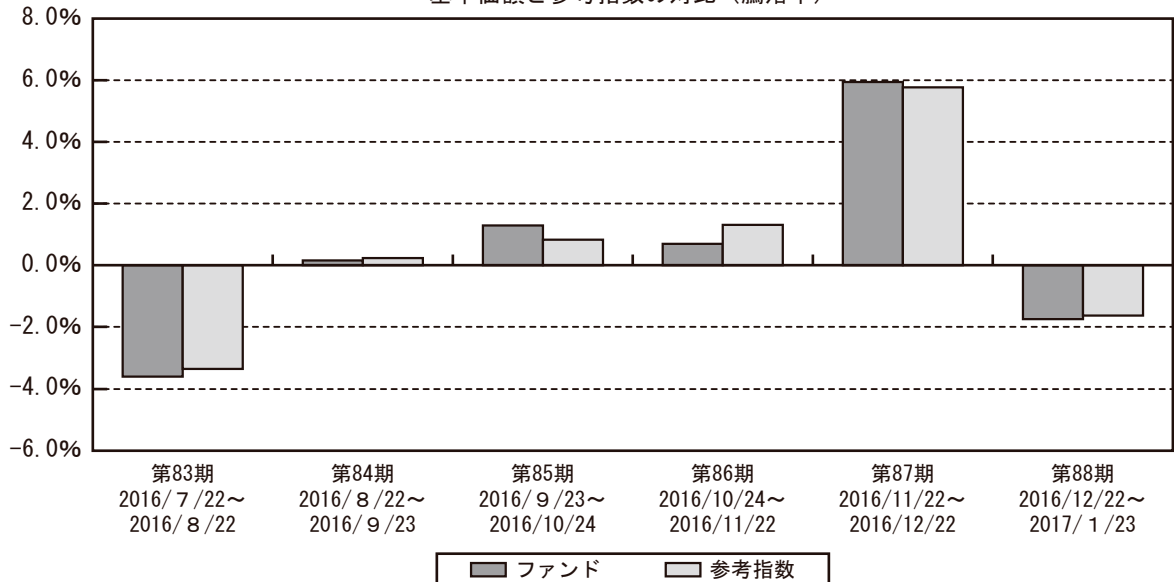
作成期末（2017年1月23日）

| 国・地域 | 平均デュレーション | 平均総利 | 平均直利 | 債券組入比率 |
|--------|-----------|-------|-------|--------|
| 中国 | 3.1 | 4.5% | 3.1% | 1.6% |
| 香港 | 4.2 | 1.4% | 2.2% | 0.5% |
| 韓国 | 8.1 | 2.3% | 2.2% | 8.1% |
| 台湾 | 3.0 | 0.7% | 1.3% | 6.3% |
| インドネシア | 7.8 | 7.9% | 7.6% | 17.8% |
| マレーシア | 7.9 | 4.3% | 4.2% | 11.7% |
| フィリピン | 7.0 | 4.4% | 6.2% | 12.1% |
| シンガポール | 8.9 | 2.4% | 2.9% | 7.7% |
| タイ | 4.8 | 2.0% | 2.2% | 12.3% |
| インド | 5.4 | 6.8% | 7.4% | 18.2% |
| スリランカ | 3.3 | 12.1% | 11.4% | 1.2% |
| 計／平均 | 6.4 | 4.6% | 4.9% | 97.6% |

- ・国際機関債は発行通貨別に分類しています。
- ・資金管理目的で、主要投資対象国以外のソブリン債券（米国債券等）に一部投資することもあります。
- ・デュレーションを調整するために、債券先物を使用する場合があります。
- ・デュレーションとは、「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなります。
- ・平均総利（複利最終利回り）とは、償還日までの受取利息とその再投資収益および償還差損益も考慮した利回り（年率）をいいます。
- ・平均直利（直接利回り）とは、受取利息収入部分にのみ着目した利回り。債券価格に対する受取利息の割合（年率）をいいます。

当該投資信託のベンチマークとの差異について （第83期～第88期：2016/7/23～2017/1/23）

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数は、アジア国債インデックス（円ベース）です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

| 項目 | 第83期 | 第84期 | 第85期 | 第86期 | 第87期 | 第88期 |
|-----------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| | 2016年7月23日～ 2016年8月22日 | 2016年8月23日～ 2016年9月23日 | 2016年9月24日～ 2016年10月24日 | 2016年10月25日～ 2016年11月22日 | 2016年11月23日～ 2016年12月22日 | 2016年12月23日～ 2017年1月23日 |
| 当期分配金 | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 |
| （対基準価額比率） | 0.677% | 0.681% | 0.677% | 0.677% | 0.643% | 0.659% |
| 当期の収益 | 21 | 21 | 29 | 27 | 31 | 21 |
| 当期の収益以外 | 38 | 38 | 30 | 32 | 28 | 38 |
| 翌期繰越分配対象額 | 1,635 | 1,597 | 1,567 | 1,535 | 1,507 | 1,469 |

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

＜アジア・ソブリン・オープン（毎月決算型）＞

◎今後の運用方針

- ・引き続き、アジア・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象として運用を行います。マザーファンドの組入比率を引き続き高位に保ち運用を行っていく方針です。

＜アジア・ソブリン・オープン マザーファンド＞

◎運用環境の見通し

- ・米国の今後の財政拡大期待などがあるものの、多くの投資対象国・地域は緩和的な金融政策を維持しており、債券市場は安定的に推移する見通しです。英国の欧州連合（EU）離脱に関する不透明感や米国の財政拡大期待に伴う米ドル高などが新興国全般にネガティブに働く可能性があるものの、米国やグローバルな景気回復が輸出面でプラスに働くことが予想され、ファンダメンタルズが良好なアジア為替市場は中長期的には安定的に推移する見通しです。

◎今後の運用方針

- ・インドやインドネシアなど金利に魅力のある債券の組入比率を高く維持し、安定的な利息収入の確保をめざします。
- ・経済改革が進展しているインドネシア・ルピアや相対的に高金利通貨であるインド・ルピーなどの通貨組入比率を高めとする方針です。
- ・利息収入と債券価格の変動を考慮して、当面のデュレーションは当作成期末と概ね同程度とする予定です。また、財政赤字の拡大やインフレ率の上昇などから金利上昇が懸念される場合には、デュレーションを短期化する場合があります。デュレーションを調整するために、債券先物取引を使用する場合があります。
- ・外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジは行いません。外国通貨建債券に投資した場合には、原則として、実質的に債券発行国（アジア諸国・地域）の自国通貨建となるように為替予約、直物為替先渡取引などの為替取引を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年7月23日～2017年1月23日)

| 項 目 | 第83期～第88期 | | 項 目 の 概 要 |
|------------------------|-----------|---------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 円 | % | (a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数) |
| (投 信 会 社) | (42) | (0.472) | ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価 |
| (販 売 会 社) | (29) | (0.329) | 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受 託 会 社) | (2) | (0.022) | ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (b) そ の 他 費 用 | 12 | 0.133 | (b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 |
| (保 管 費 用) | (9) | (0.095) | 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 |
| (監 査 費 用) | (0) | (0.002) | ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用 |
| (そ の 他) | (3) | (0.035) | 信託事務の処理等に要するその他諸費用 |
| 合 計 | 86 | 0.956 | |
| 作成期中の平均基準価額は、8,937円です。 | | | |

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2016年7月23日～2017年1月23日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘 柄 | 第83期～第88期 | | | |
|-----------------------|-----------|--------|---------|---------|
| | 設 定 | | 解 約 | |
| | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| アジア・ソブリン・オープン マザーファンド | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| | 26,366 | 43,195 | 206,903 | 338,094 |

○利害関係人との取引状況等

(2016年7月23日～2017年1月23日)

利害関係人との取引状況

<アジア・ソブリン・オープン（毎月決算型）>

該当事項はございません。

<アジア・ソブリン・オープン マザーファンド>

| 区 分 | 第83期～第88期 | | | | | |
|--------|------------|--------------------|---------------|--------------|--------------------|---------------|
| | 買付額等 A | うち利害関係人 との取引状況B | $\frac{B}{A}$ | 売付額等 C | うち利害関係人 との取引状況D | $\frac{D}{C}$ |
| 為替直物取引 | 百万円 811 | 百万円 — | % — | 百万円 1,108 | 百万円 3 | % 0.3 |

平均保有割合 99.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行です。

○組入資産の明細

(2017年1月23日現在)

親投資信託残高

| 銘 柄 | 第82期末 | 第88期末 | |
|-----------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 |
| アジア・ソブリン・オープン マザーファンド | 千口 1,899,192 | 千口 1,718,654 | 千円 2,915,182 |

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2017年1月23日現在)

| 項 目 | 第88期末 | |
|-----------------------|-----------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| アジア・ソブリン・オープン マザーファンド | 千円 2,915,182 | % 98.7 |
| コール・ローン等、その他 | 37,092 | 1.3 |
| 投資信託財産総額 | 2,952,274 | 100.0 |

(注) アジア・ソブリン・オープン マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（2,946,993千円）の投資信託財産総額（2,949,694千円）に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

| | | | |
|------------------|-----------------|--------------------|----------------------|
| 1 アメリカドル=113.96円 | 1 香港ドル=14.69円 | 1 シンガポールドル=80.25円 | 1 マレーシアリングgit=25.64円 |
| 1 タイバーツ=3.23円 | 1 フィリピンペソ=2.28円 | 100インドネシアルピア=0.85円 | 100韓国ウォン=9.77円 |
| 1 ニュー台湾ドル=3.61円 | 1 インドルピー=1.68円 | 1 スリランカルピー=0.76円 | 1 オフショア元=16.70円 |

○特定資産の価格等の調査

(2016年7月23日～2017年1月23日)

<アジア・ソブリン・オープン マザーファンド>

| 特 定 資 産 の 種 類 | 件 数 |
|---------------|-----|
| 直物為替先渡取引 | 7 |

当作成期に、アジア・ソブリン・オープン（毎月決算型）の主要投資対象であるアジア・ソブリン・オープン マザーファンドにおいて行った取引のうち、「投資信託及び投資法人に関する法律」第11条に基づき価格等の調査が必要とされた資産の取引については、PwCあらた監査法人へその調査を委託し、調査報告書を受領しました。当該取引については、取引相手方の名称、通貨の種類、売買別、想定元本、満期日、その他当該取引の内容に関することについて調査を依頼しました。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

| 項 目 | 第83期末 | 第84期末 | 第85期末 | 第86期末 | 第87期末 | 第88期末 |
|----------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | 2016年8月22日現在 | 2016年9月23日現在 | 2016年10月24日現在 | 2016年11月22日現在 | 2016年12月22日現在 | 2017年1月23日現在 |
| | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| (A) 資産 | 3,013,098,649 | 2,966,368,021 | 2,969,138,660 | 2,947,035,538 | 3,051,556,923 | 2,952,274,058 |
| コール・ローン等 | 33,463,866 | 31,062,296 | 31,073,549 | 30,524,816 | 31,946,436 | 30,736,041 |
| アジア・ソブリン・オープン マザーファンド(詳細欄) | 2,973,938,221 | 2,915,654,769 | 2,925,178,895 | 2,901,498,947 | 3,007,583,938 | 2,915,182,351 |
| 未収入金 | 5,696,562 | 19,650,956 | 12,886,216 | 15,011,775 | 12,026,549 | 6,355,666 |
| (B) 負債 | 30,191,517 | 41,945,491 | 35,104,322 | 36,801,093 | 34,926,274 | 28,223,206 |
| 未払収益分配金 | 20,337,832 | 20,043,608 | 19,989,169 | 19,825,327 | 19,522,110 | 19,388,177 |
| 未払解約金 | 5,638,451 | 17,631,848 | 11,039,583 | 13,189,634 | 11,406,424 | 4,584,232 |
| 未払信託報酬 | 4,203,974 | 4,258,644 | 4,064,684 | 3,776,019 | 3,987,063 | 4,239,446 |
| 未払利息 | 59 | 46 | 55 | 54 | 56 | 54 |
| その他未払費用 | 11,201 | 11,345 | 10,831 | 10,059 | 10,621 | 11,297 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 2,982,907,132 | 2,924,422,530 | 2,934,034,338 | 2,910,234,445 | 3,016,630,649 | 2,924,050,852 |
| 元本 | 3,389,638,737 | 3,340,601,395 | 3,331,528,233 | 3,304,221,202 | 3,253,685,041 | 3,231,362,986 |
| 次期繰越損益金 | △ 406,731,605 | △ 416,178,865 | △ 397,493,895 | △ 393,986,757 | △ 237,054,392 | △ 307,312,134 |
| (D) 受益権総口数 | 3,389,638,737口 | 3,340,601,395口 | 3,331,528,233口 | 3,304,221,202口 | 3,253,685,041口 | 3,231,362,986口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 8,800円 | 8,754円 | 8,807円 | 8,808円 | 9,271円 | 9,049円 |

○損益の状況

| 項 目 | 第83期 | 第84期 | 第85期 | 第86期 | 第87期 | 第88期 |
|-----------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| | 2016年7月23日～ 2016年8月22日 | 2016年8月23日～ 2016年9月23日 | 2016年9月24日～ 2016年10月24日 | 2016年10月25日～ 2016年11月22日 | 2016年11月23日～ 2016年12月22日 | 2016年12月23日～ 2017年1月23日 |
| | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| (A) 配当等収益 | △ 731 | △ 634 | △ 693 | △ 576 | △ 672 | △ 978 |
| 支払利息 | △ 731 | △ 634 | △ 693 | △ 576 | △ 672 | △ 978 |
| (B) 有価証券売買損益 | △107,914,760 | 8,762,421 | 41,485,474 | 23,771,145 | 173,737,945 | △ 48,212,863 |
| 売買益 | 618,686 | 9,480,505 | 42,158,674 | 24,414,087 | 175,850,812 | 434,665 |
| 売買損 | △108,533,446 | △ 718,084 | △ 673,200 | △ 642,942 | △ 2,112,867 | △ 48,647,528 |
| (C) 信託報酬等 | △ 4,215,175 | △ 4,269,989 | △ 4,075,515 | △ 3,786,078 | △ 3,997,684 | △ 4,250,743 |
| (D) 当期損益金 (A + B + C) | △112,130,666 | 4,491,798 | 37,409,266 | 19,984,491 | 169,739,589 | △ 52,464,584 |
| (E) 前期繰越損益金 | △268,716,086 | △393,459,439 | △405,829,132 | △383,139,381 | △374,861,862 | △220,433,428 |
| (F) 追加信託差損益金 | △ 5,547,021 | △ 7,167,616 | △ 9,084,860 | △ 11,006,540 | △ 12,410,009 | △ 15,025,945 |
| (配当等相当額) | (322,772,021) | (319,155,314) | (319,369,066) | (317,811,338) | (314,037,118) | (313,888,395) |
| (売買損益相当額) | (△328,319,042) | (△326,322,930) | (△328,453,926) | (△328,817,878) | (△326,447,127) | (△328,914,340) |
| (G) 計 (D + E + F) | △386,393,773 | △396,135,257 | △377,504,726 | △374,161,430 | △217,532,282 | △287,923,957 |
| (H) 収益分配金 | △ 20,337,832 | △ 20,043,608 | △ 19,989,169 | △ 19,825,327 | △ 19,522,110 | △ 19,388,177 |
| 次期繰越損益金 (G + H) | △406,731,605 | △416,178,865 | △397,493,895 | △393,986,757 | △237,054,392 | △307,312,134 |
| 追加信託差損益金 | △ 5,547,021 | △ 7,167,616 | △ 9,084,860 | △ 11,006,540 | △ 12,410,009 | △ 15,025,945 |
| (配当等相当額) | (322,802,990) | (319,179,380) | (319,396,246) | (317,841,411) | (314,069,381) | (313,944,464) |
| (売買損益相当額) | (△328,350,011) | (△326,346,996) | (△328,481,106) | (△328,847,951) | (△326,479,390) | (△328,970,409) |
| 分配準備積立金 | 231,445,147 | 214,471,732 | 202,817,872 | 189,552,982 | 176,465,667 | 160,919,632 |
| 繰越損益金 | △632,629,731 | △623,482,981 | △591,226,907 | △572,533,199 | △401,110,050 | △453,205,821 |

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 3,401,534,278円
 作成期中追加設定元本額 123,407,376円
 作成期中一部解約元本額 293,578,668円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.9049円です。
- ②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は307,312,134円です。
- ③分配金の計算過程

| 項 目 | 2016年7月23日～ 2016年8月22日 | 2016年8月23日～ 2016年9月23日 | 2016年9月24日～ 2016年10月24日 | 2016年10月25日～ 2016年11月22日 | 2016年11月23日～ 2016年12月22日 | 2016年12月23日～ 2017年1月23日 |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| 費用控除後の配当等収益額 | 7,141,610円 | 7,290,902円 | 9,917,891円 | 9,147,875円 | 10,264,544円 | 6,867,845円 |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | －円 | －円 | －円 | －円 | －円 | －円 |
| 収益調整金額 | 322,802,990円 | 319,179,380円 | 319,396,246円 | 317,841,411円 | 314,069,381円 | 313,944,464円 |
| 分配準備積立金額 | 244,641,369円 | 227,224,438円 | 212,889,150円 | 200,230,434円 | 185,723,233円 | 173,439,964円 |
| 当ファンドの分配対象収益額 | 574,585,969円 | 553,694,720円 | 542,203,287円 | 527,219,720円 | 510,057,158円 | 494,252,273円 |
| 1万口当たり収益分配対象額 | 1,695円 | 1,657円 | 1,627円 | 1,595円 | 1,567円 | 1,529円 |
| 1万口当たり分配金額 | 60円 | 60円 | 60円 | 60円 | 60円 | 60円 |
| 収益分配金金額 | 20,337,832円 | 20,043,608円 | 19,989,169円 | 19,825,327円 | 19,522,110円 | 19,388,177円 |

○分配金のお知らせ

| | 第83期 | 第84期 | 第85期 | 第86期 | 第87期 | 第88期 |
|-----------------|------|------|------|------|------|------|
| 1 万口当たり分配金（税込み） | 60円 | 60円 | 60円 | 60円 | 60円 | 60円 |

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っています場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お知らせ】

- ①信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める（分散型に分類）ため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
(2016年10月14日)
- ②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

アジア・ソブリン・オープン マザーファンド

《第15期》決算日2017年1月23日

[計算期間：2016年7月23日～2017年1月23日]

「アジア・ソブリン・オープン マザーファンド」は、1月23日に第15期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第15期の運用状況をご報告申し上げます。

| | |
|--------|---|
| 運用方針 | 日本を除くアジア諸国・地域のソブリン債券（国債、政府保証債等）および準ソブリン債券（政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券）を中心に投資を行い、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。 |
| 主要運用対象 | 日本を除くアジア諸国・地域のソブリン債券および準ソブリン債券 |
| 主な組入制限 | <ul style="list-style-type: none"> ・外貨建資産への投資は、制限を設けません。 ・ソブリン債券以外への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の35%以内とします。 ・同一企業が発行する債券への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・同一国・地域が発行する債券への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の35%以内とします。 |

○最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | 参考指数 | | 債券先物比率 | 債券先物比率 | 純資産額 |
|-----------------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|
| | 期騰落 | 中率 | 期騰落 | 中率 | | | |
| | 円 | % | | % | % | % | 百万円 |
| 11期(2015年1月22日) | 17,726 | 16.2 | 18,110 | 16.3 | 98.2 | — | 4,461 |
| 12期(2015年7月22日) | 18,072 | 2.0 | 18,322 | 1.2 | 97.1 | — | 4,406 |
| 13期(2016年1月22日) | 16,505 | △ 8.7 | 16,843 | △ 8.1 | 97.6 | — | 3,431 |
| 14期(2016年7月22日) | 16,412 | △ 0.6 | 16,851 | 0.0 | 97.9 | — | 3,146 |
| 15期(2017年1月23日) | 16,962 | 3.4 | 17,352 | 3.0 | 97.6 | — | 2,943 |

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 参考指数は、シティ世界国債インデックスの現地通貨建て国別サブインデックス（シンガポール、マレーシア、フィリピン、インドネシア、韓国、台湾、タイ）の基準日前営業日の各指数とJ.P. Morgan GBI-EM Broad India（インド・ルビー建て、ヘッジなし）の基準日前営業日指数を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により三菱UFJ国際投信が円換算したうえ等ウエイトで合成し、当ファンド設定日を10,000として指数化したものです。

シティ世界国債インデックスの現地通貨建て国別サブインデックスは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスです。

J.P. Morgan GBI-EM Broad India（インド・ルビー建て、ヘッジなし）：情報は、信頼性があると信じられる情報源から取得したものです。J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2015, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日 | 基 準 価 額 | | 参 考 指 数 | | 債 組 入 比 率 | 債 先 物 比 率 | 券 率 |
|----------------------|---------|------|---------|------|-----------|-----------|-----|
| | 騰 落 | 率 | 騰 落 | 率 | | | |
| (期 首) 2016年 7月22日 | 円 | % | | % | % | % | % |
| | 16,412 | — | 16,851 | — | 97.9 | — | — |
| 7 月 末 | 16,246 | △1.0 | 16,713 | △0.8 | 97.7 | — | — |
| 8 月 末 | 16,107 | △1.9 | 16,577 | △1.6 | 97.7 | — | — |
| 9 月 末 | 15,818 | △3.6 | 16,260 | △3.5 | 97.8 | — | — |
| 10 月 末 | 16,110 | △1.8 | 16,506 | △2.0 | 97.1 | — | — |
| 11 月 末 | 16,444 | 0.2 | 16,899 | 0.3 | 95.4 | — | — |
| 12 月 末 | 17,041 | 3.8 | 17,417 | 3.4 | 96.1 | — | — |
| (期 末) 2017年 1月23日 | 16,962 | 3.4 | 17,352 | 3.0 | 97.6 | — | — |

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ3.4%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●投資環境について

◎債券市況

- ・各国中央銀行は緩和的な金融政策を維持したものの、米国大統領選挙以降、今後の財政拡大期待やインフレ期待の上昇などを背景として世界的に金利が上昇したことから、多くの投資対象国・地域の金利は期首に比べ上昇しました。
- ・インドでは、インフレ率が低下基調にあることや中央銀行による政策金利の引き下げが行われたことなどから、金利は低下しました。インドネシアでは、政策金利の引き下げが行われたものの、世界的に金利が上昇したことなどから、金利は上昇しました。

◎為替市況

- ・米国での今後の財政拡大や利上げペースが速まるとの期待などを受け、米ドル高が進行したことなどから、多くの投資対象国・地域の通貨は対米ドルで下落しました。
- ・タイでは、安定した貿易黒字などを背景に、アジア新興国通貨の中では底堅く推移し、タイ・バーツは対米ドルでの下落は限定的となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・日本を除くアジア諸国・地域のソブリン債券（国債、政府保証債、国際機関債などをいいます。）および準ソブリン債券（政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券をいいます。）を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用しました。
- ・金利に魅力のあるインド・ルピー建債券やインドネシア・ルピア建債券の組入比率を高めとし、安定的な利息収入の確保をはかりました。
- ・外貨建資産について、対円ででの為替ヘッジは行いませんでした。なお、米ドル建債券等の外国通貨建債券に投資した場合には、実質的に債券発行国（アジア諸国・地域）の自国通貨建てとなるように為替予約、直物為替先渡取引（NDF）などによる為替取引を行いました。

※直物為替先渡取引とは、一種の外国為替先渡取引であり、決済時に元本の受け渡しを行わずに、取引時に決定した取引レートと決済レートの差および元本により計算した額を、米ドルなどに換算して、受け渡しを行う取引です。

- ・通貨別組入比率は、経済改革が進展しているインドネシア・ルピアや相対的に高金利通貨であるインド・ルピーなどの組入比率を高めに維持しました。貿易収支の状況の変化などを考慮して、フィリピン・ペソを引き下げ、タイ・バーツを引き上げました。
- ・前記の運用を行った結果、一部の国を除き、一般的に金利が上昇したことがマイナスに作用したものの、安定的な利息収入やインド国債などの利回りが低下したこと、円安が進行し投資対象国・地域の通貨が対円で上昇したことなどがプラスに寄与し、期を通してみると、基準価額は上昇しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・米国の今後の財政拡大期待などがあるものの、多くの投資対象国・地域は緩和的な金融政策を維持しており、債券市場は安定的に推移する見通しです。英国の欧州連合（EU）離脱に関する不透明感や米国の財政拡大期待に伴う米ドル高などが新興国全般にネガティブに働く可能性があるものの、米国やグローバルな景気回復が輸出面でプラスに働くことが予想され、ファンダメンタルズが良好なアジア為替市場は中長期的には安定的に推移する見通しです。

◎今後の運用方針

- ・インドやインドネシアなど金利に魅力のある債券の組入比率を高く維持し、安定的な利息収入の確保をめざします。
- ・経済改革が進展しているインドネシア・ルピアや相対的に高金利通貨であるインド・ルピーなどの通貨組入比率を高めとする方針です。
- ・利息収入と債券価格の変動を考慮して、当面のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は当期末と概ね同程度とする予定です。また、財政赤字の拡大やインフレ率の上昇などから金利上昇が懸念される場合には、デュレーションを短期化する場合があります。デュレーションを調整するために、債券先物取引を使用する場合があります。
- ・外貨建資産については、原則として対円ででの為替ヘッジは行いません。外国通貨建債券に投資した場合には、原則として、実質的に債券発行国（アジア諸国・地域）の自国通貨建てとなるように為替予約、直物為替先渡取引などの為替取引を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年7月23日～2017年1月23日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|-----------------------|---------|------------|---------------------------------|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) そ の 他 費 用 | 円 21 | % 0.131 | (a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保 管 費 用) | (16) | (0.096) | 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 |
| (そ の 他) | (6) | (0.035) | 信託事務の処理等に要するその他諸費用 |
| 合 計 | 21 | 0.131 | |
| 期中の平均基準価額は、16,294円です。 | | | |

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2016年7月23日～2017年1月23日)

公社債

| | | | 買 付 額 | 売 付 額 |
|---|--------|------|--------------------------|----------------------|
| 外 | マレーシア | 国債証券 | 千マレーシアリングット 4,180 | 千マレーシアリングット 8,230 |
| | タイ | 国債証券 | 千タイバーツ 38,288 | 千タイバーツ 28,956 |
| | フィリピン | 国債証券 | 千フィリピンペソ - | 千フィリピンペソ 36,830 |
| | インドネシア | 国債証券 | 千インドネシアルピア 11,982,800 | 千インドネシアルピア - |
| 国 | | 特殊債券 | - | 18,571,200 |
| | 韓国 | 国債証券 | 千韓国ウォン 2,081,466 | 千韓国ウォン - |
| | | | | (2,000,000) |
| | インド | 国債証券 | 千インドルピー 53,820 | 千インドルピー - |
| | | 社債券 | - | 53,423 |
| | スリランカ | 国債証券 | 千スリランカルピー - | 千スリランカルピー 46,015 |

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分です。

(注) 社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) 社債券には政府の出資比率が50%を越えている企業の発行する債券が含まれております。

スワップ及び先渡取引状況

| 種 類 | 取 引 契 約 金 額 |
|----------|-------------|
| 直物為替先渡取引 | 百万円 296 |

○利害関係人との取引状況等

(2016年7月23日～2017年1月23日)

利害関係人との取引状況

| 区 分 | 買付額等 A | | $\frac{B}{A}$ | 売付額等 C | | $\frac{D}{C}$ |
|--------|--------------------|----------|---------------|--------------------|----------|---------------|
| | うち利害関係人 との取引状況B | | | うち利害関係人 との取引状況D | | |
| 為替直物取引 | 百万円 811 | 百万円 — | % — | 百万円 1,108 | 百万円 3 | % 0.3 |

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行です。

○組入資産の明細

(2017年1月23日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

| 区 分 | 当 期 末 | | | | | | | |
|---------|--------------------------|--------------------------|--------------|----------|-----------------|-----------|--------|--------|
| | 額面金額 | 評 価 額 | | 組入比率 | うちBB格以下 組入比率 | 残存期間別組入比率 | | |
| | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 |
| アメリカ | 千アメリカドル 400 | 千アメリカドル 400 | 千円 45,688 | % 1.6 | % — | % 1.6 | % — | % — |
| 香港 | 千香港ドル 1,000 | 千香港ドル 1,038 | 15,261 | 0.5 | — | — | 0.5 | — |
| シンガポール | 千シンガポールドル 2,700 | 千シンガポールドル 2,827 | 226,940 | 7.7 | — | 7.7 | — | — |
| マレーシア | 千マレーシアリンギット 13,700 | 千マレーシアリンギット 13,438 | 344,556 | 11.7 | — | 11.7 | — | — |
| タイ | 千タイバーツ 111,000 | 千タイバーツ 111,751 | 360,956 | 12.3 | — | 7.0 | 5.3 | — |
| フィリピン | 千フィリピンペソ 150,000 | 千フィリピンペソ 156,846 | 357,608 | 12.1 | — | 8.2 | — | 3.9 |
| インドネシア | 千インドネシアルピア 67,000,000 | 千インドネシアルピア 61,660,866 | 524,117 | 17.8 | — | 16.1 | 1.7 | — |
| 韓国 | 千韓国ウォン 2,000,000 | 千韓国ウォン 1,961,012 | 191,590 | 6.5 | — | 6.5 | — | — |
| 台湾 | 千ニュー台湾ドル 50,000 | 千ニュー台湾ドル 51,010 | 184,148 | 6.3 | — | — | 6.3 | — |
| インド | 千インドルピー 300,000 | 千インドルピー 319,521 | 536,796 | 18.2 | — | 12.4 | 5.8 | — |
| スリランカ | 千スリランカルピー 50,000 | 千スリランカルピー 48,118 | 36,569 | 1.2 | 1.2 | — | 1.2 | — |
| 中国オフショア | 千オフショア元 3,000 | 千オフショア元 2,861 | 47,789 | 1.6 | — | — | 1.6 | — |
| 合 計 | — | — | 2,872,024 | 97.6 | 1.2 | 71.2 | 22.4 | 3.9 |

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

| 銘柄 | 当期末 | | | | | |
|--------|--------------------------|-------|-------------|-------------|---------|------------|
| | 利率 | 額面金額 | 評価額 | | 償還年月日 | |
| | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | |
| アメリカ | | % | 千アメリカドル | 千アメリカドル | 千円 | |
| 社債券 | 3.25 KOREA OIL 240710 | 3.25 | 400 | 400 | 45,688 | 2024/7/10 |
| 小計 | | | | | 45,688 | |
| 香港 | | | 千香港ドル | 千香港ドル | | |
| 国債証券 | 2.31 HONG KONG 210621 | 2.31 | 1,000 | 1,038 | 15,261 | 2021/6/21 |
| 小計 | | | | | 15,261 | |
| シンガポール | | | 千シンガポールドル | 千シンガポールドル | | |
| 国債証券 | 2.875SINGAPORGOVT 300901 | 2.875 | 1,200 | 1,230 | 98,759 | 2030/9/1 |
| | 3 SINGAPORGOVT 240901 | 3.0 | 1,100 | 1,159 | 93,015 | 2024/9/1 |
| | 3.5 SINGAPORGOVT 270301 | 3.5 | 400 | 438 | 35,165 | 2027/3/1 |
| 小計 | | | | | 226,940 | |
| マレーシア | | | 千マレーシアリンギット | 千マレーシアリンギット | | |
| 国債証券 | 3.9 MALAYSIAGOV 261130 | 3.9 | 1,000 | 974 | 24,983 | 2026/11/30 |
| | 3.955 MALAYSIAGOV 250915 | 3.955 | 4,700 | 4,601 | 117,977 | 2025/9/15 |
| | 4.181 MALAYSIAGOV 240715 | 4.181 | 4,000 | 4,012 | 102,867 | 2024/7/15 |
| | 4.232MALAYSIAGOV 310630 | 4.232 | 3,000 | 2,869 | 73,575 | 2031/6/30 |
| | 4.498 MALAYSIAGOV 300415 | 4.498 | 1,000 | 981 | 25,152 | 2030/4/15 |
| 小計 | | | | | 344,556 | |
| タイ | | | 千タイバーツ | 千タイバーツ | | |
| 国債証券 | 1.25 THAILAND I/L 280312 | 1.25 | 66,000 | 63,634 | 205,538 | 2028/3/12 |
| | 3.65 THAILAND 211217 | 3.65 | 45,000 | 48,116 | 155,417 | 2021/12/17 |
| 小計 | | | | | 360,956 | |
| フィリピン | | | 千フィリピンペソ | 千フィリピンペソ | | |
| 国債証券 | 3.9 PHILIPPIN(GL) 221126 | 3.9 | 20,000 | 19,176 | 43,721 | 2022/11/26 |
| | 6.25 PHILIPPI(GL) 360114 | 6.25 | 80,000 | 87,000 | 198,360 | 2036/1/14 |
| 社債券 | 7.75 POWER SEC 170422 | 7.75 | 50,000 | 50,670 | 115,527 | 2017/4/22 |
| 小計 | | | | | 357,608 | |
| インドネシア | | | 千インドネシアルピア | 千インドネシアルピア | | |
| 国債証券 | 6.625 INDONESIA 330515 | 6.625 | 46,000,000 | 40,064,666 | 340,549 | 2033/5/15 |
| | 7.875 INDONESIA 190415 | 7.875 | 2,000,000 | 2,042,000 | 17,357 | 2019/4/15 |
| | 8.375 INDONESIA 240315 | 8.375 | 3,000,000 | 3,135,000 | 26,647 | 2024/3/15 |
| | 8.375 INDONESIA 260915 | 8.375 | 12,000,000 | 12,630,000 | 107,355 | 2026/9/15 |
| 特殊債券 | 4.95 EIB(GL) 190301 | 4.95 | 4,000,000 | 3,789,200 | 32,208 | 2019/3/1 |
| 小計 | | | | | 524,117 | |
| 韓国 | | | 千韓国ウォン | 千韓国ウォン | | |
| 国債証券 | 1.875 KOREA TRE 260610 | 1.875 | 2,000,000 | 1,961,012 | 191,590 | 2026/6/10 |
| 小計 | | | | | 191,590 | |
| 台湾 | | | 千ニュー台湾ドル | 千ニュー台湾ドル | | |
| 国債証券 | 1.375 TAIWAN GOVT 200310 | 1.375 | 50,000 | 51,010 | 184,148 | 2020/3/10 |
| 小計 | | | | | 184,148 | |
| インド | | | 千インドルピー | 千インドルピー | | |
| 国債証券 | 6.35 INDIA GOVT 200102 | 6.35 | 50,000 | 49,929 | 83,881 | 2020/1/2 |
| | 7.61 INDIA GOVT 300509 | 7.61 | 50,000 | 53,870 | 90,502 | 2030/5/9 |
| | 7.8 INDIA GOVT 210411 | 7.8 | 50,000 | 52,453 | 88,121 | 2021/4/11 |
| | 8.28 INDIA GOVT 320215 | 8.28 | 50,000 | 55,345 | 92,979 | 2032/2/15 |

| 銘 | 柄 | 当 期 末 | | | | | |
|---------|------|-----------------------|------|--------|--------|-----------|------------|
| | | 利 率 | 額面金額 | 評 価 額 | | 償還年月日 | |
| | | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | |
| インド | 社債券 | 8.73 NTPC LTD 230307 | 8.73 | 50,000 | 53,686 | 90,193 | 2023/3/7 |
| | | 8.8 POWER GRID 230313 | 8.8 | 50,000 | 54,236 | 91,117 | 2023/3/13 |
| 小 計 | | | | | | 536,796 | |
| スリランカ | 国債証券 | 11 SRI LANKA 210801 | 11.0 | 50,000 | 48,118 | 36,569 | 2021/8/1 |
| | | | | | | 36,569 | |
| 小 計 | | | | | | 36,569 | |
| 中国オフショア | 特殊債券 | 2.85 ASIAN DEV 201021 | 2.85 | 2,000 | 1,907 | 31,861 | 2020/10/21 |
| | | 3.1 INTL FINAN 190924 | 3.1 | 1,000 | 953 | 15,927 | 2019/9/24 |
| 小 計 | | | | | | 47,789 | |
| 合 計 | | | | | | 2,872,024 | |

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 社債券には政府の出資比率が50%を越えている企業の発行する債券が含まれております。

スワップ及び先渡取引残高

| 種 類 | 取 引 契 約 残 高 | |
|----------|-------------|--|
| | 当期末想定元本額 | |
| 直物為替先渡取引 | 百万円 43 | |

○投資信託財産の構成

(2017年1月23日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------|-----------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 公社債 | 千円 2,872,024 | % 97.4 |
| コール・ローン等、その他 | 77,670 | 2.6 |
| 投資信託財産総額 | 2,949,694 | 100.0 |

(注) 期末における外貨建純資産 (2,946,993千円) の投資信託財産総額 (2,949,694千円) に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

| | | | |
|------------------|-----------------|--------------------|----------------------|
| 1 アメリカドル=113.96円 | 1 香港ドル=14.69円 | 1 シンガポールドル=80.25円 | 1 マレーシアリングgit=25.64円 |
| 1 タイバーツ=3.23円 | 1 フィリピンペソ=2.28円 | 100インドネシアルピア=0.85円 | 100韓国ウォン=9.77円 |
| 1 ニュー台湾ドル=3.61円 | 1 インドルピー=1.68円 | 1 スリランカルピー=0.76円 | 1 オフショア元=16.70円 |

○特定資産の価格等の調査

(2016年7月23日～2017年1月23日)

| 特定資産の種類 | 件数 |
|----------|----|
| 直物為替先渡取引 | 7 |

当期に、当ファンドにおいて行った取引のうち、「投資信託及び投資法人に関する法律」第11条に基づき価格等の調査が必要とされた資産の取引については、PwCあらた監査法人へその調査を委託し、調査報告書を受領しました。当該取引については、取引相手方の名称、通貨の種類、売買別、想定元本、満期日、その他当該取引の内容に関することについて調査を依頼しました。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年1月23日現在)

○損益の状況 (2016年7月23日～2017年1月23日)

| 項目 | 当期末 |
|-----------------|----------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 2,956,296,537 |
| コール・ローン等 | 38,344,498 |
| 公社債(評価額) | 2,872,024,750 |
| 未収入金 | 7,725,056 |
| 未收利息 | 36,411,000 |
| 前払費用 | 1,791,233 |
| (B) 負債 | 13,009,910 |
| 未払金 | 6,609,100 |
| 未払解約金 | 6,400,806 |
| 未払利息 | 4 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 2,943,286,627 |
| 元本 | 1,735,215,698 |
| 次期繰越損益金 | 1,208,070,929 |
| (D) 受益権総口数 | 1,735,215,698口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 16,962円 |

| 項目 | 当期 |
|--------------------|---------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | 69,902,155 |
| 受取利息 | 69,906,272 |
| 支払利息 | △ 4,117 |
| (B) 有価証券売買損益 | 29,345,844 |
| 売買益 | 161,098,197 |
| 売買損 | △ 131,752,353 |
| (C) 先物取引等取引損益 | △ 1,090,369 |
| 取引益 | 2,641,047 |
| 取引損 | △ 3,731,416 |
| (D) 保管費用等 | △ 4,100,500 |
| (E) 当期損益金(A+B+C+D) | 94,057,130 |
| (F) 前期繰越損益金 | 1,229,160,050 |
| (G) 追加信託差損益金 | 19,129,280 |
| (H) 解約差損益金 | △ 134,275,531 |
| (I) 計(E+F+G+H) | 1,208,070,929 |
| 次期繰越損益金(I) | 1,208,070,929 |

<注記事項>

- ①期首元本額 1,916,859,012円
 期中追加設定元本額 30,092,725円
 期中一部解約元本額 211,736,039円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.6962円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

| | |
|---------------------------|----------------|
| アジア・ソブリン・オープン(毎月決算型) | 1,718,654,847円 |
| アジア・ソブリン・オープン(毎月決算型)米ドル基準 | 16,560,851円 |
| 合計 | 1,735,215,698円 |

(注) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。